

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第56号
平成23年10月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳祭 2011 インフォメーション



作品選定後、広報担当の学生が作者、教員と相談を重ね、このポスターデザインに決定

大学・短期大学部の第四十七回聖徳祭のポスターに採用する作品を、昨年に引き続き今年も学生に公募したところ、五十点もの作品が寄せられました。若い感性あふれる素晴らしい力作が揃いました。七月五日(火)に、学友会役員と聖徳祭委

聖徳大学・聖徳大学短期大学部 第四十七回 聖徳祭

ポスター採用作品決定!!

大島さんは、コンセプトについて「つながりをイメージして描きました。色合いをカラフルにして、人目につきやすいようにしました」と語っています。なお、表彰は十一月五日(土)、聖徳祭の開会式の中で行われます。お子様から学生、大人の方まで楽しめる見どころ満載な企画が二日間かけて行われます。ぜひご来場ください。



講演をする秋田教授

大勢の保育関係者が集まりました

七月二十三日(土)、夏の恒例行事「第四十四回SEITOKU夏期保育大学」が開催されました。今年は、「保育の未来をテーマに掲げ、幼稚園、保育園の園長、施設長を中心に約五百十名の参加がありました。午前中の全体会は、聖徳大学川並香順記念講堂で行われ、今年度は東京大学大学院教育学研究科の秋田喜代美教授を招き、「保育の質を高めるために―子どもの経験からふりかえる保育プロセス」と題した講演を実施しました。秋田教授は日本保育学会の会長でもあり、教育活動では広いフィールドワークを持ち、「保育の質をどのよう高めていくか、今一度現場の先生方が子どもの生活や気持ちを見つめ直す大切さ」をお話しされました。午後は十一の分科会を開催。第一分科会は、保幼小の連携についてパネルディスカッション形式で行われ、各

「保育の未来」をテーマに 第四十四回 SEITOKU 夏期保育大学開催

■主なトピックス■

受講者募集!
平成23年度 聖徳大学 地域スポーツ ふれあい教室
開催日時:
10月30日(日)
11月23日(水・祝)
詳細は → 2ページ

INDEX

学園	1-2
大学院・大学・短大	1-3
幼児教育専門学校	4
附属女子中・高	4
取手聖徳女子中・高	5
小学校	5
幼稚園	5-6
寄付者芳名一覧	7
インフォメーション	2・4・8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO9001
(教育の品質マネジメントシステム)
ISO14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/taiwase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

- 聖徳大学・聖徳大学短期大学部
- 第47回 聖徳祭
11月5日(土)・6日(日)
テーマ 10:00~15:30
「ヒトがつながる ココロ広がる」
学園祭HP
<http://www.seitoku.jp/seitokusai2011.pdf>
- 専門学校、中学校・高等学校、小学校、幼稚園でも次々開催!
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 文化祭(児童文化研究発表会)
11月3日(木・祝) 10:00~14:30
- 聖徳大学附属女子中学校・高等学校
- 第29回 聖徳祭
10月9日(日) 9:00~14:00
テーマ
「Move ~心を動かせ 刻め歴史を~」
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校
- 第29回 聖徳祭 ※終了しました。
9月22日(木)・23日(金・祝)
テーマ
「Step and Go ~今、踏み出す時~」
- 聖徳大学附属小学校
- 第26回 聖徳祭
10月16日(日) 8:10~15:00
テーマ
「つみあげよう、ひろげよう
ぼくたち・わたくしたちの校風と伝統を」
- 聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属第三幼稚園・附属浦安幼稚園
- 「大学・短大部第47回聖徳祭」でのステージ発表(会場:川並香順記念講堂)
11月5日(土)
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳にこここまつり
11月3日(木・祝) 10:00~14:30
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳にこここまつり
10月30日(日) 10:00~14:00
- 聖徳学園多摩中央幼稚園
- 聖徳にこここまつり
10月16日(日) 10:00~14:00

復興へのメッセージよ、届け



聖徳大学松戸キャンパスSHAN SHANプラザにて

短期大学部総合文化学科の学生70名が、東日本大震災からの再出発に向けた取り組み「希望の芽を育む」の一環として人文字「HOPE」を作りました。ほかにも、「東北」「再生」「LOVE」の文字も制作。7月中旬の暑い最中での撮影となりましたが、学生のさわやかなメッセージがキャンパスを彩りました。(学科ホームページ <http://soubun.seitoku.ac.jp/>)



ディヴァレンジャーの歌声が会場を魅了

藤川さんは、一週間前に行われた同コンペティション全国大会で優秀賞を獲得し、総合全国大会であるグラウンドファイナルに駒を進めました。藤川さんは、「とても緊張しましたが、失敗を恐れず、音楽の楽しさを少しでも表現できるように頑張りました」と語っています。

七月十七日(日)、聖徳大学にて第四十四回香和会総会・懇親会が開催されました。猛暑の中、総勢百四十名の参加がありました。総会は、この日が四十九日であった故川並弘昭・香和会名誉会長、故香和会役員、東日本大震災で被災された方々への黙祷から始まりました。審議事項では、役員承認と会則変更の件が滞りなく承認されました。また、故弘昭先生の思い出をスライドで上映し、先生を偲びました。

長年の川並純理事長、学部長・学長の挨拶、そして、大先輩の卒業生のアンサンブルグループ「ディヴァレンジャー」による東日本大震災復興支援コンサートと募金活動が行われました。

大学・大学院・短大部同窓会 第四十四回香和会総会・懇親会開催

「第十二回全日本アール・ピアノコンペティション」総合全国大会第二位入賞
八月二十六日(金)に開催された、第十一回全日本アール・ピアノコンペティション・グラウンドファイナル2において、本学音楽学部演奏学科器楽コースピアノ専修四年の藤川慶子さんが第二位に入賞しました。シヨスタク「ヴィイチ作曲「前奏曲とフーガ」第二十四番」を演奏しました。

藤川慶子さん



皇宮警察音楽隊の演奏
(正面左が栗田兼任講師)

全国の音楽隊が聖徳に集合 平成二十三年度 警察音楽隊研修会

八月二十三日(火)から二十六日(金)までの四日間、聖徳大学を会場にして本年度五回目となる、聖徳大学音楽研究センター主催の警察音楽隊研修会が開催されました。

四十一道府県の音楽隊から選ばれた六十九名の音楽隊員が集まりました。最終日の二十六日には、研修会の成果を市民の皆さまに聞いていただく機会として、「吹奏楽コンサート」が聖徳大学川並香順記念講堂にて開催されました。全国から集まった研修生によってコンサートのために編成された吹奏楽団が、素晴らしい演奏をしました。

警察音楽隊の演奏では、本学音楽学部演奏学科の栗田真帆兼任講師が歌唱で共演しました。また、千葉県警察音楽隊の演奏では、カラーガード隊の華やかな楽しい演技も披露されました。

- ソロ部門F級(高等学校3年生以下の部)
 - 金賞 東海林 茉奈さん(兵庫県) 中学3年
 - 銀賞 田中 英純さん(北海道) 中学2年
 - 銅賞 足木 克利さん(愛知県) 中学3年
- グランミュージック部門A1(23歳以上音楽愛好者の部)
 - 福田 真顕さん(群馬県)

国決勝大会 表彰式



向かって正面左より足立さん、原佳之・音楽学部教授、東海林さん

この度はピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会において聖徳大学川並賞銀賞を受賞させていただきました。今後も研鑽に励み貴賞の名に恥じないよう努力してまいります。誠に有難うございました。

足木克利さん(愛知県) 川並賞を頂いてから一週間が経ちました。僕は、この一週間で色々なことを考えました。国内だけでなく海外にも興味を持ちたい、自分の将来についてなどを考えました。僕は、五歳からピアノを始め、小

今年で第三十五回。ピティナ・ピアノコンペティション。今年で第三十五回を迎えた全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)主催によるピアノ・コンペティションが開催され、全国各地で約四万人の参加者による地区大会にて選ばれた若きピアニストたちが八月十八日(木)から四日間、東京での全国決勝大会で熱演を繰り広げました。

聖徳大学では音楽学部で音楽の専門教育を行い、児童学部及び短期大学部保育科で児童・幼児教育者養成の一環としてピアノ教育に特に力を入れています。本学ではピティナ・ピアノコンペティションに協賛し、

東海林茉奈さん(兵庫県) この度は聖徳大学川並賞という名誉ある素晴らしい賞をいただき、本当にどうもありがとうございます。今でもまだ実感がわかず、今でも信じられません。このような賞をいただけたのは、いつも私を支えてくれるたくさんの方のおかげです。このことを忘れずに、いつも感謝の心を持って、真剣に音楽と向き合い、頑張り続けたいと思います。本当にありがとうございました。

田中英純さん(北海道) この度はピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会において聖徳大学川並賞銀賞を受賞させていただきました。今後も研鑽に励み貴賞の名に恥じないよう努力してまいります。誠に有難うございました。

同窓会連合会 聖徳学園菊水会 第九回 評議員会開催

七月二十三日(土)、聖徳大学十号館(生涯学習社会貢献センター)において、学園の同窓会組織である「聖徳学園菊水会」の第九回評議員会及び懇親会が開催されました。開会にあたり、故川並弘昭聖徳学園菊水会前会長のご遺徳を偲び、哀悼の意を表し、黙祷をささげました。

会議では、川並純純学園長が新たに聖徳学園菊水会会長に就任し、「学園を卒業された方々が社会で活躍できるように、学園を挙げて応援していきましょう」と語り、私たちがどうこう言うよりも、卒業生が生き生きするような環境を、聖徳学園菊水会を通して整えていただければと思います」と述べました。

の役割を設け、川並知子名誉学園長が就任し、「同窓会は精神的な運営として、学校を支える力となっていると思います。同窓会が活発になることが、学校が活発になることにつながります。同窓会というつながりですが、固まりがちになりませんが、なるべく若い方も入れて、各学校(園)の同窓会を活発に行っていたらと思います」と語りました。

このほか、平成二十二年収入支決算及び事業報告並びに、平成二十三年収入支



川並会長(前列右より4人目)、川並名誉会長(同5人目)を囲んで

聖徳学園菊水会ホームページへぜひアクセスしてみてください!!
URL <http://www.seitoku.jp/dosorengokai>

受講者募集! 平成23年度聖徳大学地域スポーツふれあい教室



昨年の様子

- ・10月30日(日)……1dayフィットネス「健康のためのバランスエクササイズ」
- ・11月23日(水・祝)…陸上競技ランニングの基礎「長距離走を楽しもう!」

昨年度開催しました「聖徳大学地域スポーツふれあい教室」を、本年度より生涯学習と位置づけ、聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)の特設講座として実施します。これまでのランニング講座に加え、新たに1dayフィットネス講座を開講いたします。

ランニング講座では、ストレッチの基本的なやり方、合理的なランニングフォーム・ランニングペースづくりなど、ランニング初心者向けに長距離走を無理なく楽しむ走法を取り上げます。

講師は、百瀬定雄准教授(大学院教職研究科、トリノ・バンクーバーオリンピック リュージュ日本代表監督)、市橋千恵美さん(旧姓:高橋、人間栄養学科3年在籍、シドニーオリンピック陸上女子1万メートル日本代表)、さらに今回は聖徳大学陸上競

技部の佐藤信春監督(前JALグランドサービス陸上競技部監督、元富士通陸上競技部監督、元NEC陸上競技部監督代行)と宮崎翔子さん(短期大学部保育科1年在籍、前豊田自動織機陸上競技部所属、東京マラソン2011・女子の部8位入賞)のお二人を加え、受講者のフォローを強化いたします。

新設の1dayフィットネス講座は、百瀬定雄准教授と江藤喜代子さん(旧姓:石橋、心理学科2年在籍、PSA公認プロスノーボーダー、元ナショナルチーム代表)を講師に迎え、縄跳びやバランスボールを用いたエクササイズなどにチャレンジし、運動の基本である平衡感覚を高めるバランストレーニングを行います。

皆さまのご参加をお待ちしております。

1day フィットネス「健康のためのバランスエクササイズ」

- ・開催日時: 10月30日(日) / 13:00~15:00
- ・会場: 聖徳大学体育館(5号館) ※自家用車での来場はご遠慮ください
- ・受講料: 1,500円

陸上競技ランニングの基礎「長距離走を楽しもう!」

- ・開催日時: 11月23日(水・祝) / 13:00~15:00
- ・会場: 附属女子中学校・高等学校グラウンド ※駐車場あり(雨天時は聖徳大学附属小学校体育館)
- ・受講料: 1,500円

お申込み・お問い合わせ先/聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)
〒271-0092 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学生涯学習社会貢献センター内

平成23年度 SOA 秋期オープンカレッジ 開催

- 日 時: 平成23年11月12日(土) 13:00~15:00
- 会 場: 聖徳大学キャンパス ●参加費: 無料(予約制)
- 内 容: 映画上映と講演



千葉茂樹氏

映画: 今ここに愛の奇跡-マザー・テレサ-
講演: 千葉茂樹氏(映画監督)

「いのちを守る勇気-マザー・テレサに学ぶ-」

お申込み・お問い合わせ: 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)

大学・短大部

志賀高原で学ぶ 「学外研修Ⅰ」

今年度も八月二十九日(月)から九月五日(月)の期間、二班編成で「学外研修Ⅰ」が長野県の志賀高原で実施されました。この研修は、聖徳大学・同短期大学の



大沼池にて休憩をとりました(1班)

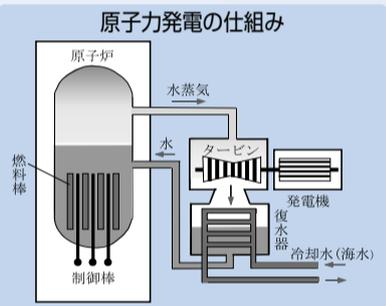
研究室から 第⑤回 原田 義也 原子力発電と東電の事故①

今回は、原子力発電の原理を解説します。われわれの身の回りのものは、92種類の原子からできています。そのうちのもっとも重い原子、ウラン(U)が原子力発電に使われます。天然のUは主にオーストラリア、カザフスタン、ロシアなどで酸化物として採掘され、U238(ウラン238)を99.3%、U235(ウラン235)を0.7%含んでいます。

◆ここで238または235という数字は質量数と呼ばれ、Uの原子核に含まれている陽子と中性子の数の和です。U238は安定していますが、U235は不安定で、その原子核が外から中性子を吸収すると、2個の原子核に分裂し、膨大なエネルギーを放出します。この核分裂で中性子も飛び出します。その中性子が他のU235に吸収されると次の核分裂が起き、さらにそこで生じた中性子が次の核分裂を起こします。これが「連鎖反応」です。

◆連鎖反応でU235の1グラムが核分裂すると、石炭3000キログラムを燃やしたのに相当する熱が出ます。天然ウラン中のU235の濃度を上げて、ほぼ100%にすると原子爆弾ができます。ただし、U235とU238は化学的性質がまったく同じため、U235の純度を上げるには、特殊な技術が必要です。広島原爆では約1キログラムのU235の連鎖反応が瞬時に起こり、未曾有の被害を与えました。

◆一方、原子力発電の原子炉の中には、図のようにU235約4%を含む核燃料棒が入っており、中性子を吸収する材質



できた制御棒の出し入れによって、U235の核分裂が制御されます。核燃料は水の中に浸されており、核分裂による熱で水が沸騰し、水蒸気のでタービンを回し発電します。

◆発電の原理は火力発電と同じです。ただし、石炭や石油の燃焼と違い、核分裂では地球温暖化のもとになる炭酸ガスが出ません。その代わりに、使用済みの核燃料など、環境を破壊する放射性物質が生じるのです。

(短期大学部総合文化学科教授/専門分野は量子化学)

短期大学部 総合文化学科

第四回「ビジネス・ウーマンの会」開催

八月二十七日(土)、大学十号館(生涯学習社会貢献センター)にて、短期大学部総合文化学科の卒業生を対象とした「第四回ビジネス・ウーマンの会」を開催しました。今年は十六名の卒業生が出席し、川並弘純学長をはじめ、学



卒業生と教職員で記念撮影

科と関わりのある教職員と楽しいひとときを過ごしました。毎年恒例となった卒業生のスピーチでは、「短大時代には」授業の合間に友人と話をしたり、本を借りたり、「プログラミングの勉強をしていく。全く新しい分野だがいつか自らチームを手掛けた」と進学したい」視野が広が

子どもの事故



所長

児童学部教授
松浦 信夫

「事故サーベイラン ス・プロジェクト」が結成され、事故のデータベース化が進められました。さらに、平成十八年夏には「子どもの事故予防工学カウンシル(CIPERC)」が発足しました。これは、行政、医療現場、メディア、産業、教育を巻き込んだ研究組織で、事故のデータベース化、分析、再発防止などの幅広い活動が進められています。

平成十九年からは、経済産業省による「安全知識循環型社会構築事業」に参加し、国立成育医療研究センターとも協力して、活動を進めています。その中心となって活動されているのが、産業技術総合研究所の西田佳史先生です。児童学研究所では、毎年二月に「子どもの発達シンポジウム」を開催しています。今年度は、「子どもの事故」を中心に、山中龍宏、西田佳史両先生をお招きして、平成二十四年二月十八日(土)の午後開催する予定です。奮ってご参加ください。

研究所リレー連載

所長の伝言板 第九回
聖徳大学児童学研究所

「持続的就業力育成支援シ

「持続的就業力育成支援シ

※ビジネス・ウーマンのピンシエ(BISOCIE)とは、「become independent in society」(社会的自立)の略称であり、自立した女性の育成を目指す、本学科のキャリア教育を象徴する名称です。

研究所リレー講座のお知らせ

聖徳大学の4研究所が連携して開催する初めての連続講座、「研究所リレー講座」がスタートしています。総合テーマの【子ども】について、趣向をこらした講座を開催。皆さまのご参加をお待ちしております。

第3回 10月8日(土) 心理教育相談所長 末永 清
子どもの問題行動とその対応
-良い子に育てるためのヒント-

第4回 10月22日(土) 言語文化研究所長 林 史典
「おかあさん」の語源
-母親の呼称、その歴史と社会学-

・時間: 13:00~14:30 ・定員: 150名(申込不要・入退場自由)
・会場: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)14階

お問い合わせ: 聖徳大学知財戦略課 TEL.047-365-1111(大代)

幼児教育専門学校

「学外研修Ⅰ」 信州夏季研修旅行

八月五日(金)から七日(日)の期間、一部一年生と二年生は、長野県佐久市の春日温泉にある美しい自然に囲まれた学園セミナーハウス「かすが荘」にて、学外研修Ⅰを実施しました。

初日は、かすが荘到着後、レクリエーションの一環としてドッジボール大会を行いました。一、二部生、教職員が全員参加で合計十試合を行い、親睦を深めました。大変盛り上がり、学生からは「とても楽しかった」「先生方とも仲良くなれた」等の感想が聞こえました。

二日目は、午前中に「八島ヶ原湿原散策」及び「車山高原ハイキング」を行いました。天候が心配されましたが、雲の切れ間から日光が差し、車山高原の広大な自然を堪能することができました。山頂で昼食をとりましたが、雲の切れ間から日光が差し、車山高原の広大な自然を堪能することができました。



車山高原にて

光が差し、車山高原の広大な自然を堪能することができました。山頂で昼食をとりましたが、雲の切れ間から日光が差し、車山高原の広大な自然を堪能することができました。

親睦を深めるといふこの研修の目的を通じて、保育者になるための大きな一歩を踏み出していきます。

後の陶芸教室では、クラスごとに講師の方についていただき、学生は思い思いの作品作りに没頭していました。最終日は、長門牧場にてバター作りを体験しました。馬や羊に触れることもでき、笑顔の絶えない素晴らしい体験となりました。

普段できない自然との触れ合いや、共に学ぶ仲間や教職員同士の親睦を深めるといふこの研修の目的を通じて、保育者になるための大きな一歩を踏み出していきます。

専門学校同窓会「ひじり会」近況報告

〈笑顔いっぱいのリズム講習会〉

ひじり会は昭和36年に発足し、今年で50周年を迎えます。現在、13,140名の会員が全国で活躍しています。その長い歴史の中で、ひじり会主催の「リズム講習会」は、今年で30回目を迎えました。

今回のリズム講習会では、8月28日(日)に

聖徳大学短期大学部保育科の中野真紀子准教授の指導の下、運動会を主体としたリズムあそびを行いました。今年も積極的な出席者でにぎわい、新しい曲での踊りにチャレンジしていました。毎年参加されている先生方からは、「園に持ち帰って活用します」「講習会に参加して私の新学期が始まります」などうれしい声をいただきました。

〈深まるきずなの北海道旅行〉

今年も「小樽方面への旅」を8月18日(木)から3泊4日で行いました。3年間、北海道の

魅力探しが続いておりますが、小樽では(学外研修中の)後輩の幼児教育専門学校2年生と思い出の記念撮影など、すてきな出会いがありました。

〈同窓生の感謝の集い〉

記念すべき節目50周年の「ひじり会総会・同窓会」が、9月17日(土)アルカディア市ヶ谷にて開催されました。総会后、作家の落合恵子氏をお招きし、「子どもに学ぶ、子どもと生きる・・・HUGの時空」と題してご講

演いただきました。落合氏は多方面でご活躍しておりますが、3月11日の震災後、独自のプロジェクトを立ち上げ、被災者の子どもたちに絵本を送っていらっしゃるとのこと。一人ひとり大切な命とどう向きあうのか、またどのように生きるべきか、琴線に触れる学びのひとつでした。

こども図書館で「遊ぶ、動かす、からくり玩具」を展示中!!

場所：聖徳大学松戸キャンパス1号館(川並記念図書館「こども図書館」)
会期：平成23年8月9日(火)～12月14日(水)

こども図書館では、「遊ぶ、動かす、からくり玩具」と題して、さまざまな種類のからくり玩具を展示しています。日本各地から収集した郷土玩具(寄贈・本学児童学科神谷明宏准教授)と、江戸時代に誕生した茶運び人形(お茶を入れた茶碗を人形が客の前まで運び、飲み終わった茶碗を元に戻すと、Uターンして戻る)、弓曳童子(人形が矢を取り、弓を引いて的に連射する)のからくり人形2体を展示しています。同時に人形の一連の動きをビデオで紹介しています。これらの人形は簡単な仕掛けで動き、その動きの面白さは、今回展示している郷土玩具にも取り入れられています。



おばけの金太

茶運び人形

附属女子中学校・高等学校

教員による報告

平成二十三年度イギリス語学研修

七月十日(日)から十五日(金)、「平成二十三年度イギリス語学研修」に行つてきました。附属女子中高からは二十五名、取手聖徳女子中高からは十七名、総勢四十二名の生徒の参加があり、二名の生徒の参加があり、引率の森教頭先生、松浦享先生、私を加え、四十五名という例年になく大所帯の語学研修になりました。

成田空港での結団式では、川並弘純理事長から「目で見て、体験して、食べて、味



英語レッスンを受ける生徒たち

わって、本物を五感で感じ取つてみてください」という激励の言葉をいただき、一行はフライト時間十二時間超という長旅を経て、イギリスのオックスフォードブルックスに到着しました。到着直後に現地のチーフマネージャーであるバリー先生から長旅のねぎらいの言葉などをいただきましたが、生徒たちは疲労困ぱいで、反応も今ひとつの様子。それでも各自の部屋に荷物を運ぶと、キャンパス内にはイタリアの少女に声をかける生徒もいて、語学研修への意欲の片鱗を感じさせる場面もありました。

一日の流れは、午前は「英語レッスン」、午後は「プロジェクト」という構成になっており、プロジェクトの中身はオックスフォード市内の各施設見学や観光とスポーツです。市内観光では、各自

日赤救急法講習会で救急員資格を取得

八月一日(月)から三日(水)、高校生の希望者を対象に、日赤救急法講習会が開催されました。この講習会では三日間、講義と実習を行い、最終日の学科と実技の修了試験に合格すれば「赤十字救急法救急員」の資格を取得することができます。

初日は、学科の後に毛布を使った保温や一次救命処置(心肺蘇生法、AED)を用いた除細動の実技を行いました。生徒たちは、初めての体験に戸惑いながらも、講師の先生方の熱心なご指導のおかげで、みなで声をかけ合いながら協力して行うことができました。

二日目は主に包帯法を行い、三角巾を使用した傷の手当てを学びました。三日目は担架などを用いた搬送と、今まで学んだことを生かした総合実技が行われました。

最後には見事、全員が学科・実技に合格し、「赤十字救急法救急員」の資格を取得することができました。生徒たちは「この講習会で学んだことを忘れないで、これからの生活で人のために役立てたい」と述べていました。



2日目は包帯法を繰り返し練習しました

後半の週に入ると、生徒たちの英語への熱も高まると同時に、研修最終日の夕刻に実施する「ジャパニーズ」の準備に余念がありませんでした。不安は多々ありましたが、結果からいって大盛況。英語劇あり、絵描き歌あり、日本クイズあり、カルタあり、日本語の挨拶の紹介あり、習字体験ありと多種に渡り、浴衣の着付けを実演するグループもありました。そして最後は盆踊りでした。会場の全員で踊り、まさに国境を越えて友好の輪が広がったひとときでした。

翌日はいよいよ閉校式。

イギリスのヒースロー空港を出発して一路成田へ。機内でこの十五日間を振り返ると、生徒たちが日に日に成長していく様子が感じられました。弱音を吐く生徒もなく、それぞれにさまざまな思いを胸に受け止めた研修でした。この経験をこれからの学校生活に生かしてほしいと切に願う次第です。(教諭 高島 政文)

ロンドンの英国国会議事堂、ビッグベンをバックに記念撮影



ロンドンの英国国会議事堂、ビッグベンをバックに記念撮影

英語を駆使して買い物に奮闘していましたし、スポーツでは、他国からの子どもたちとも交歓するなど楽しい時間を送っていました。

イギリスでの生活を一周間送った週末には、ストラットフォードでシエクスピアゆかりの場所を巡ったり、ロンドンでビッグベンやロンドンアイなどを写真に収めたりしました。バッキンガム宮殿での衛兵の交替式を間近で見ることができました。

この時はイギリスを離れたくないといわんばかりの面持ちでした。

取手聖徳女子中学校・高等学校

インターハイを終えて(北東北総体)

七月三十一日(日)、八月一日(月)に青森県でインターハイが開催され、本校新体操部が出場し、団体で三十一位、個人では高校一年生の小川真悠さん(習志野第二中学校出身)がクラブ・ボールで総合九位の成績を収めました。

七月二十七日(水)に青森に入ってから本番までの数日間は、各会場を移動しながら厳しい練習やミーティングを繰り返して、一人ひとりが本番への気持ちを高めることに全力で取り組みました。練習ではなかなか成功しなかった箇所も本番では次々と成功させ、演技を完成させることができ、終了後の選手の表情は五人全員で達成させた喜びと充実感で満ちあふれていました。

また、個人で出場した小川さんは、初の全国大会ながら堂々とした演技を披露し、柔軟性に関しては上位の選手を圧巻させるほどで、総合九位という成績は感で満ちあふれていました。



出場選手たちと長野雅弘校長

箏曲部が「ふくしま総文」へ出場

本校箏曲(そうきょく)部は、「第三十五回全国高等学校総合文化祭(ふくしま総文) 日本音楽部門」(八月三日(水)・四日(木))に、茨城県合同として初めて出場しました。全国大会出場は三年ぶりです。

今年度は福島が開催地ということで、震災の影響で開催の見通しがつかない状況が続きました。今まで準備を重ねてきた福島の高校生への思いをくみ、規模の縮小、大幅な会場・日程の変更をし、開催しました。日本音楽部門では、今年度は被災地への思いを託した選曲が多かったのが印象的でした。部員たちも福島の高校生スタッフに元気をたくさんもらうことができました。初めて全国のレベル

附属小学校

附属小の二学期スタート

九月一日(木)、聖徳大学附属小学校の二学期が開始されました。四十二日間の夏休みを経て、どの児童も



体育館で2学期のさらなる飛躍を誓いました

一学期と比べて一回り大きくなっていました。表情からは勉強や行事を頑張るといふ気持ちが伝わってきて、教職員は児童たちをとても頼もしく感じています。

二学期は聖徳祭があり、全学年一体となって成功に向けて練習や準備に一生懸命取り組んでいます。十月十六日(日)は一般公開日となりますので、ぜひ多くの方に本校の輝く姿をご覧ください。附属小学校は二学

目を当たりにし、圧倒された部員たちは、二日間舞台に釘付けで熱心にメモをとっていました。

来年度の富山総文への単独校出場を獲得するため、十月の茨城県芸術祭では、今回学んだことを生かしていきます。

ちなみに、平成二十六年度の総文の開催地は茨城です。日本音楽部門では、開催がオープニングで合同演奏を行うことになっており、茨城でも数年前から県芸術祭で合同演奏の試みを始めています。



会場の棚倉町文化センター倉美館にて



えぶろんパパ手作りのみこし

三田幼稚園 「えぶろんパパ」 主催の夏祭り開催

七月三十日(土)、午前中に時折雨が降り、天候が心配されましたが、午後の開催時には園児のお父様で構成される「えぶろんパパ」のメンバーの思いが通じたのか、奇跡的に恵みのお日様の下で夏祭りが行われました。

今年、「震災義援金として売り上げ金を寄付する」「節電のため昼間の時間帯で行う」ということで準備を進めてきました。子どもみこしや出店など、全てえぶろんパパが行いました。チケット売り場は、幹事のお母様が手伝ってくださいました。

麻布十番の和太鼓チームの皆さまの演奏、本学園創立者・川並香順先生の愛犬

えぶろんパパによる企画立案から実施にいたるまでのご協力によって、無事に夏祭りを終了することができました。教職員も楽しく過ごすことができました。月曜日から行われた夏期保育でも夏祭りの楽しかった話で盛り上がりまし



りっきー君(中央)も大人気



昨年の聖徳祭の様子



友達と協力して華麗な扇を作る園児たち

幼稚園短信

八王子中央幼稚園 運動会

毎年十月に運動会が行われます(今年十月八日(土)に開催します)。東京工業専門学校のグラウンドをお借りしての盛大な運動会です。教職員全員で荷物の運び出しをしたり、事前にグラウンドに行き整備や草刈などを行ったり、当日へ向けての準備を進めています。

また、当日はお手伝いの保護者の方々や、聖徳大学幼児教育専門学校の、三田や多摩の姉妹園の先生方などたくさんの方のご協力を得て、運動会が実施されます。

園児たちは、九月より練習してきたかけっこ、遊戯、競技などを発表します。普段は幼稚園の園庭で行っている遊戯を当日はリハーサルなして広いグラウンドで

行うことに、教員はハラハラ、ドキドキしていますが、園児たちはそんな思いをよそに思いっきり体を動かして、さまざまな表現を楽しみます。

かけっこではそれぞれ学年の差が見られます。年少組は、一人ひとりゴールまで精いっぱい走る姿が見られます。年中組は、友達と走ることを喜び、走り方も身につけてきています。年長組になると、競争意識を持ってゴールまで走る姿が見られます。子どもの成長を感じていただける一面面です。

運動会は、ルールを守り、友達と一緒に最後まで力を合わせて頑張る力を身につけ、みんなで成し遂げた満足感や達成感を十分に味わい、自信へとつなげる、大きく成長できる行事の一つです。

をイメージした着ぐるみ「りっきー君(お父様の手作り)」の登場、抽選会と盛りだくさんの企画があり、近隣の方も小さい子どものお手を引いて来場し、多くのお客様が集まりました。

た。既にえぶろんパパの皆さまは来年度の構想を練り、今から盛り上がりつつある様子です。

多摩中央幼稚園

園外保育

毎年、年中組が多摩動物公園に行っています(今年十月六日(木)に実施します)。園児たちは園外保育に



チーターと一緒に「はいチーズ!」

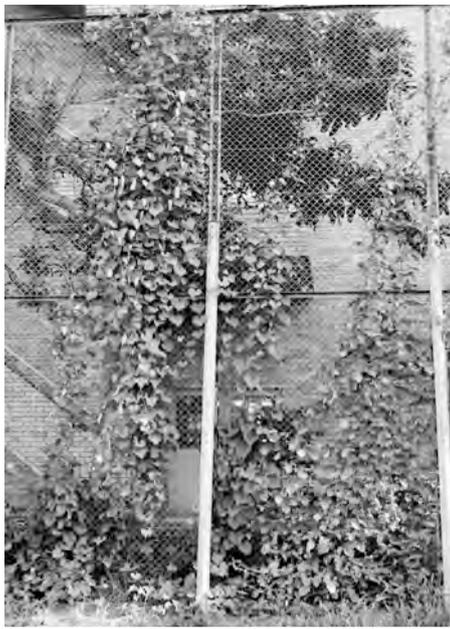
行く日が近づくにつれて、図鑑を引っ張り出し、動物たちの特徴を見たり、比べたりして、当日までの一週間は、「先生早く動物園行きたいね」「ゾウ大きいよね」と楽しみにしている声が多く聞かれます。

動物園に向かう幼稚園バスの中でも、話が絶えない園児たち。動物園に着き、見学を始める時、キリンやシマウマなど一頭ごとで模様の違うことに気付いたり、ゾウやチンパンジー、フラミンゴなどの大きさや顔の違いにも気が付いたり。動物園には、「今度はお家の人と一緒に遊びたいな」「もっといっぱい見たい」などの話が聞こえるくらい、楽しい思いを感じようとしています。今後も動物や生き物について興味や関心を示せるように、この経験を大切に、さまざまな援助を行っていききたいと思っています。

附属幼稚園

花育の取り組み「朝顔のグリーンカーテン」

当園では平成二十一年より、花育に取り組んでいます。松戸市と協力し「滅C O2(ゲンコツ)大作戦」で、年少児がどんぐりキッズ隊として、どんぐり拾いを行い、プランターに植え、育



左:西洋あさがお 右:日本あさがお

ています。この三年間で小さいながらも落葉し、春には新芽が芽吹き、今では三〇センチほどの苗木に成長しています。今年の年少児も、秋にはどんぐりキッズ隊として出動予定です。また、NPO法人Living(イマジン)とトキタ種苗(株)の協力で、花の苗を提供していただき、園児たちは園庭の花壇に季節ごと、



西洋あさがお

どんな花が咲くか楽しみに世話をしています。昨年よりグリーンカーテンにも取り組み始め、今年も大学と幼稚園の境にあるフェンスと玄関横に朝顔の苗を植えました。種類は、日本の「暁の海」「青海」「かわい朝顔」、西洋の「ヘブリーブルー」「フライングソーサー」などがあります。ヘブリーブルーは、青色

附属第二幼稚園

なつこのよつちえん「盆踊り会」

「なつこのよつちえん」の最終日、八月四日(木)に毎年恒例の盆踊り会が行われました。日中豪雨に見舞われ、夜の天気心配されましたが、なんとか園庭で実施することができました。

夕方五時過ぎると、かわいいゆかた姿の園児たちが保護者と共に次々と登園してきました。園庭中央に組み立てられたやぐらや点灯したちようちん、髪を結い上げてゆかた姿で迎える教員を見て、園児たちはいつもと違う幼稚園の雰囲気、少々とまどつていました。が、うれしさが伝わってきました。音楽が流れるとやぐらを囲んで「聖徳音頭」「幼児の盆踊り」「ドラえもん音頭」など、みんな元気いっぱいかけ声をかけながら楽しく踊りました。



みんなで輪になって踊りました

今年も平日にかかわらずお父様方の参加が多く、積極的に和太鼓をたたいて会を盛り上げてくださいました。父母の会の縁日で購入したピカピカ腕輪やピカピカカチューシャを光らせ、得意気になって踊る園児たちの姿はとっても愛らしく、また休憩時間にやぐらの前で家族や教員と和やかに記念写真を撮ったりと、日常では見られないさまざまな親子の表情が見られました。最後に「楽しい夏休みを過ごして九月に元気に会いましょう」とみんなで大

附属浦安幼稚園

お泊まり保育

八月一日(月)から四日(木)まで、夏の幼稚園が実施されました。三日目には、年長児が大きなカバンの中にパジャマ、バスタオルなどを入れてお家の方と一緒に元氣いっぱいの顔、少し不安の顔、お母さんと離れたのが嫌で涙ぐむ顔、さまざまな顔の園児たちが登園しました。荷物を片付けてから、隣の公園でクラス写真を撮りました。

その後、ホールで八月の誕生祝い会、すいか割り大会をしました。すいか割りでは、園児たちの歓声が響き、お友達が棒を振り上げると「違う!違う!前だよ!」と応援のエネルギーが送られました。園児の力では割れないため、教員が最後に真ん中から割ると、赤いスイカの果実が園児たちの前に現れました。夕食は大好きなカレーライスを食べ、そして、キャンプファイアでインディアンが来るのを待ちました。



夢の中でも元氣いっぱいの園児たち

ました。インディアンが持ってきた仲良しの火が点火されると、歌を歌ったり、などをしたり、教員のリズム劇「ごちゃませカメレオン」を観たり、大喜びです。心配していたお泊まりは、昼間遊んだせいかわかりませんが、寝ることができました。中にはお手洗いに数回行く園児がいて、去年よりも多かったようです。翌朝、登園した年少、年中児の前に「僕、幼稚園に泊まったんだよ」と誇らしげな顔をしていました。夏期保育で体験したことが二学期につなげられるように、幼稚園生活を充実させていきたいと思っています。

附属第三幼稚園

防火指導をうけて

七月六日(水)、夏休みを目前に控え、花火など普段よりも火に接することの多いこの時期に、幼稚園の近くにある赤坂消防署の方を



消防車を前に大興奮の園児たち

招いて防火指導をしていただきました。幼稚園のホールに全園児が揃い、消防署の方に挨拶をして指導がスタートしました。まず始めに消防署の方の話を聞き、その次にDVDの内容は、「小さな子どもが留守番をしている時にライターをいたずらして、家の中のものに火が移り、火事になってしまった話」と、「森林火災」の二種類でした。中には、火事の場面の映像を見て、泣いてしまったり、怖がってしまった園児も数名

いましたが、火事の恐ろしさを実感できました。また、「もし火災が起きたら近くの人に大きな声で知らせる」などの具体的な話もありました。

防火指導の後は、本物の消防自動車を見せていただきました。間近で見ると、消防自動車は、背伸びをして覗き込んで

り、触ってみたい、順番に運転席に乗せてもらったりしていました。さらに、実際に自動車の消火器に着替えて、消火する時の様子も見せていただき、有意義な時間を過ごしました。これをきっかけに、園児から各家庭の大人たちに防火意識が浸透していくことを願っています。

「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十二年九月/平成二十三年八月寄付分

ご協力ありがとうございます

Table listing donors and amounts under categories like '取引業者関係' (Business Relations), '大学関係その他' (Other University Relations), '附属女子中学校・高等学校関係' (Affiliated High School Relations), '附属小学校関係' (Affiliated Elementary School Relations), '聖和会関係' (Seiwakai Relations), '教職員関係' (Faculty Relations), '聖徳大学附属第二幼稚園' (Seitoku University Second Kindergarten), and '教職員関係' (Faculty Relations).

Table listing donors and amounts under categories like '取手聖徳女子中学校・高等学校関係' (Tei Sei Tokoku Women's High School Relations), '聖徳大学附属小学校後援会' (Seitoku University Elementary School Alumni Association), '聖和会関係' (Seiwakai Relations), 'ひりり会関係' (Hiriri Kai Relations), '聖徳大学附属第一幼稚園' (Seitoku University First Kindergarten), and '教職員関係' (Faculty Relations).

Table listing donors and amounts under categories like '聖和会関係' (Seiwakai Relations), 'ひりり会関係' (Hiriri Kai Relations), '聖徳大学附属第一幼稚園' (Seitoku University First Kindergarten), and '教職員関係' (Faculty Relations).

Table listing donors and amounts under categories like '聖徳大学附属第二幼稚園' (Seitoku University Second Kindergarten), '教職員関係' (Faculty Relations), and '匿名希望者合計' (Total Anonymous Donors).

お礼
学園創立七十五周年を記念して開始いたしました「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」は、平成二十三年八月現在までに二、八〇九件のお申込みをいただきました。六億六千七百八十九円をいただきました。

お礼
学校の机入替や、幼稚園の遊具の設置など教育施設・設備にも寄付金を充当いたしました。これからの新しい時代にふさわしい環境と制度を整え、創立百周年に向けて世界に羽ばたく学園の形成に邁進したいと思っております。何とぞ引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先
東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金係
TEL. 〇四七-三六五-1111(代)
メールアドレス bokin@seitoku.ac.jp
ホームページアドレス http://www.seitoku.jp/bokin/

個人
寄付金が二万円を超える場合は、超えた金額がその年の総所得金額などから控除され、所得税の控除を受けることができます。また、お住まいの都道府県市区町村が、聖徳学園へのご寄付を寄付金税額控除の対象として指定している場合、個人住民税も控除を受けることができます。ご寄付いただきました際には、「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書(写)」をお送りいたしますので、確定申告の際には、双方を所轄税務署へご提出ください。

法人
受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金の全額を損金へ算入できます。

「寄付のお申し込みについて」
お電話またはメールで、ご住所とお名前をお知らせください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。不明な点がございましたら、募金係までお問い合わせください。

聖徳学園に寄付をすると税金が戻ってきます。
個人
寄付金が二万円を超える場合は、超えた金額がその年の総所得金額などから控除され、所得税の控除を受けることができます。また、お住まいの都道府県市区町村が、聖徳学園へのご寄付を寄付金税額控除の対象として指定している場合、個人住民税も控除を受けることができます。ご寄付いただきました際には、「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書(写)」をお送りいたしますので、確定申告の際には、双方を所轄税務署へご提出ください。



聖徳大学川並記念図書館入口の寄付者銘板

平成24年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] <博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 内部推薦入試, 一般入試, 社会人入試, 研究生入試.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 研究生(留学生除く)入試.

<専門職学位課程> (教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試.

聖徳大学児童学部(女子)/心理・福祉学部(2012年4月新設/女子)/人文学部(女子)/人間栄養学部(女子)/音楽学部(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like AO入試 後期, 地元密着特別奨学入試, 特別奨学生入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 自己推薦入試, エリア特別推薦入試.

Large table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Contains detailed exam schedules for various departments and programs.

聖徳大学児童学部(女子)/人文学部(女子)/音楽学部(女子)編入、聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 編入入試.

※は編入入学試験のみ実施

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)<前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like AO入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 第一志望入試, 第1回入試, 第2回入試, 第3回入試.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 推薦・専願入試, 一般入試・学力特待選考.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 内部入試, 一般第1期, 一般第2期.

聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属第三幼稚園・附属浦安幼稚園

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付期間, 選考日. Includes categories like 附幼, 附二幼, 附三幼, 浦安幼.

聖徳学園三田幼稚園・八王子中央幼稚園・多摩中央幼稚園

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付期間, 選考日. Includes categories like 三田幼, 八王子幼, 多摩幼.

平成23年度 後援会支部総会・保護者会 開催日程

Table with columns: 大学・短期大学部, 開催日, 時間, 会場. Lists dates and locations for branch general meetings and parent meetings.

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

Advertisement for Kasuga Ryu, a ryu in Kasuga, Nagano. Includes pricing for students, graduates, and families, and contact information.

周辺の観光スポットのご案内

Advertisement for Ichiya Ryu, a ryu in Kasuga. Features photos of the ryu and text describing its traditional Japanese cuisine.

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。

読者の声 (Readers' Voice) section with a survey link and contact information for the magazine.

学校法人 東京聖徳学園 (Tokyo Seitoku Gakuen) advertisement with contact information and a logo.

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) お問い合わせ: 0120-66-5531

Advertisement for Open Campus events at Seitoku University, including dates and descriptions of the activities.

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200 (直通)

Advertisement for the 10th year graduation application period for the Faculty of Communications, including dates and details.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811 (代)

Advertisement for Open Campus events at Seitoku University's Faculty of Early Childhood Education, including dates and times.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 047-392-8111 (代)

Advertisement for school information sessions at Seitoku University's affiliated middle and high schools, including dates and times.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111 (代)

Advertisement for admission strategy sessions at Seitoku University's affiliated middle and high schools, including dates and times.

聖徳大学附属小学校(共学) お問い合わせ: 047-392-3111 (代)

Advertisement for school information sessions at Seitoku University's affiliated elementary school, including dates and times.

「聖徳学園東日本大震災義援金」のお礼とご報告

Report and thank-you message for the Great East Japan Earthquake relief fund, including photos of the fund and a list of donors.